

審査結果報告書

平成26年 7月 23日

主査 氏名 西山和利



副査 氏名 阪上 洋行



副査 氏名 宮岡 等



副査 氏名 馬嶋 正隆



1. 申請者氏名 : 手塚 智章

2. 論文テーマ : 脳内炎症を反映した新たな病態モデルとしてのクプリゾン短期曝露マウスの解析

3. 論文審査結果 :



西山審査員（主査）から、①本研究で取り上げたクプリゾン短期曝露マウス（以下、本マウス）での神経細胞や乏突起細胞の障害は検討されているか、②本マウスを統合失調症と結び付ける根拠、③抗炎症作用薬の検討の有無、等について質問がなされた。馬嶋審査員から、①クプリゾンの薬理作用と機序、②クプリゾンの血液脳関門透過性、③本マウスを脳内炎症及び統合失調症のモデルとする仮説への疑義、等が質問された。阪上審査員から、①本マウスで生じていることは神経細胞障害でも生じるのではないか、②本マウスで生じている病態は炎症なのかどうか、等の質問がなされた。宮岡審査員から、①本マウスを統合失調症のモデルとすることの妥当性、②どのような病態を統合失調症のモデルと考えるか、等についての質問がなされた。申請者は、①本マウスで生じている病態が狭義での「炎症」という表現は適切でないこと、②本マウスが統合失調症のモデルとしては必ずしも適切ではない可能性があること、③本マウスでの解析では神経細胞などへの検討が不十分であること、④本マウスの病態機序については未解明の部分が大きいこと、を了解した上で、上記の審査員からの疑義に適切に回答した。審査員一同は、これらの成果を評価し、既に承認された申請条件審査の結果、研究期間における研鑽と発表論文内容も併せ、申請者が博士（医学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。

